

輝け角鹿

春よ来い!早く来て... 号
令和4年2月吉日
敦賀市立角鹿小中学校



校長室より



新型コロナウイルス感染拡大の第6波が止まりません。ついに本校でも学年閉鎖を余儀なくされました。幸い拡大することなく収束しましたが、市内でも学校閉鎖、学年閉鎖となる小中学校が相次いでいます。市内の高齢者施設でもクラスター発生が報じられ、もはや新型コロナウイルスは「すぐそこ」に「いつも居る」ものとなりました。「風邪のようなもの」だと断じる人もいます。しかし症状は軽くとも回復後、重い後遺症に悩まされる人もいます。予防のためのワクチンがあっても、体内に入ってしまったウイルスを殺してくれる「治療薬」はまだまだ開発途上であり、決して油断できない状況のようです。

「感染した人」が一層身近になってきた今、再確認したいことがあります。それは「感染した人は『悪』でもなければ『敵』でもない。」ということです。「悪さをする敵」はウイルスであって、感染した人は被害者です。予防の意識やとるべき行動が周知徹底されている今、たとえ少しの油断や失敗があったとしても、それは責められるべきではありません。なぜなら「少しの油断や失敗」なんて誰にでもあるからです。完璧な人などいません。昔の人はこう教えてくれました。「困ったときはお互い様だ。」「人の不幸を啜うなかれ、誹るなかれ、明日は我が身と思え。」…。しかし一方でワクチン接種できず、また大人ほどの注意力、行動力を持たない小学生(特に低学年)は、「ウイルスに弱い存在」であることは確かです。私たち大人が補ってやらねばなりません。できることは「100%」ではありませんが、100%のことはできないと意識することで、かえって油断やミスを減らすことができます。家庭と学校が力を合わせれば、子どものことで乗り切れないカベはありません。学校は前号でお知らせした方針のもと、これからも感染予防に最大限努めつつ、子ども達の学びを進めていきます。よろしくお願いします。



◎本校の教職員も、家族がPCR検査対象となった場合、結果が出るまで自宅待機となります。その数が増えれば授業だけでなく自習監督も手が足りなくなります。その場合安全を確保するため、給食後下校とせざるを得ない状況が予想されます。じんじんメールでお知らせしますが、前日午後以降のお知らせになってしまうこともあると思われます。何卒ご理解いただきますよう、お願いします。

2月~3月の予定



- ◎年度末となりました。二月は「逃げる」三月は「去る」と言われますが、まさにあっという間に時が流れていきそうです。年度末までの主な予定をお知らせします。「予定」ですので状況により変更、延期、中止の可能性があります。学年だよりやじんじんメールなどの定期確認をお願いします。
- ◎現在、新型コロナウイルス感染の拡大を受け、中学校の部活動は市内一斉に2/20(日)まで中止、(本校は諸行事、研修のため23日再開予定)合わせてスポ小などの体育館使用も停止しています。

角鹿小学校	角鹿中学校
2月 7日(月)委員会写真撮影 16日(水)卒業を祝う会(2年&6年) 17日(木)卒業を祝う会(3年&6年) 18日(金)卒業を祝う会(4年&6年) 21日(月)クラブ 卒業を祝う会(1年&6年) 22日(火)卒業を祝う会(5年&6年) 24日(木)漢字コンテスト 25日(金)計算コンテスト 	2月 7日(月)私立高校合格発表 8日(火)~10日(木)県立高校志願変更 9日(水)1、2年期末テスト週間開始 1年総合的な学習発表会 14日(月)生徒会選挙運動期間開始 16日(水)・17日(木)県立高校入試 1、2年生期末テスト 21日(月)22日(火)県立高校追入試 25日(金)県立高校合格発表 生徒会立会演説会・投票票 
3月 11日(金)卒業証書授与式(10:15~) 	3月 11日(金)卒業証書授与式(8:30~) 17日(木)1年社会・2年理科コンテスト 24日(木)2学期終業式・令和3年度修了式・離任式 25日(金)~4月7日(木)学年末・学年始め休業
4月 8日(金)入学式(小中合同)・始業式	





地域社会の一員として…

地域の方々から時々お電話をいただきます。下校時、道路一杯に広がって歩いていて危ない…等のお叱りもありますが、昨年うれしいお電話を2件いただきました…

◇10月頃、中2女子が気比神宮付近で車から降りたものの苦しくなって立ち止まっていたお年寄りに気づき、「どうしましたか？」と声をかけて手を取り、目的地だった歯科医までお連れしました。後日その方からお電話頂き、わざわざ足を止めて気遣い助けてもらったと、心から喜んでおられました。

☆2月、部活帰りの中1、中2女子4名が、道路脇に倒れているおばあさんを発見し、すぐ手分けして家人に連絡、救急車が来るまで傘を差しかけたり、マフラーを頭の下にあてがったりして見届けたとのこと。後日息子さんから「見つけてくれただけでなく、寒い中介抱までしてくれたこと、心から感謝します。ありがとうございました。」とお礼の電話をいただきました。



改めて…大事なこと

今、学校周辺にはいつも工事関係の人たちが出入りしていますし、校門には交通整理の方が朝早くから終日立って工事車両の出入りと子ども達の安全に気を配っておられます。それらの方々にはほぼ100%の共通点があります。それは「あいさつ」です。「おはようございます。」と声をかければこちらを向いて返してくれますし、声をかけてくれることも少なくありません。改めて「あいさつは働く人の常識。」と感じます。あいさつを交わすことで目が合い、顔見知りにもなります。昔「人は見た目が9割」という本が売られました。私は「人はあいさつが9割」も真実だと思っています。



朝、子ども達とすれ違うとき「おはようございます」と私より先に声をかけてくれる子が増えてきました。ありがたいことだな、と思います。きっとご家庭でもあいさつは「あたりまえ」の習慣になっているのでしょう。いろんな場所で、その場や時に応じた「あいさつ」ができる人に育ってほしいと願っています。

中3は闘っています!

＜高校入試というハードルをクリアするために必要なこと＞

※前号からの続き…



進路(高校進学)の広域化、多様化はますます拡大し、定着していくと思われま。それは決して悪い流れではなく、むしろ「あるべき姿」に近づいていく流れです。スポーツが得意な子にはそれに打ち込める環境が用意されています。集団生活が苦手な子にはWEBを活用して学びを続けられる仕組みがあります。敦賀工業には「ものづくりが好き」な生徒のための特色選抜制度が設けられました。疑問を追求することが好きな子には「探求」系の新学科が次々に生まれています。その子の個性、特性、興味、能力に応じたより細かい、多様な選択肢が用意されるようになりました。そこで次の2つを心に留めてほしいのです。

1. 高校は「通過点」

中学3年間で「あつという間に過ぎてしまった。」と感じる子は多いでしょう。それは高校でも同じ。一心に打ち込むものがあれば、更に速く感じるでしょう。では高校を卒業した次、どうするのか。中3の今はまだ、「決めろと言われても…」が普通でしょう。でも「高校の次」はすぐやってきます。中学校ではキャリア教育として高校だけでなくいろんな職業を調べたり未来予想図づくりなど、長いスパンで自分の生き方を考える機会を設けています。

ご家庭でも「自分(親)はどう高校を選んで、どんな高校生活を送り、卒業後はどのように生きて今に至るか」機会を捉えて話して頂くと、お子さんが「高校はゴールじゃない。その先を見通さないと…」と意識するきっかけになるかもしれません。「高校は長い人生の中の一瞬の通過点」だという意識は、高校生活の充実のためにも、また3年間の高校生活を全うするためにも、大事です。

2. 高校は「分岐点」

「どの高校に(学科に)入学するか」は人生にとって大変大きな選択でもあります。普通科や探求科、国際科などは「大学進学」を前提にしていますから教科学習で追いまわられます。工業、商業、家庭等の職業科は就職だけでなく専門学校進学、大学進学など、多様な進路選択に対応していますが、実習と資格取得のための学習が大きなウエイトを占めます。つまり選んだ高校によって学習内容は全く違いますし、それに合った進路も大きく違うということです。その意味で高校入試は「人生の分かれ道」と言えます。今から具体的な職業を目標にするのは難しく必要でもありませんが、「どんな仕事に就きたいのか」くらいはよく考えて、それなりの「覚悟と決意」を持って進学しないと、「こんなはずじゃなかった…」となりがねません。ちなみに近年の大学進学率は、6割弱です。一方で就職で「大卒」が必ず有利である時代はとっくに終わっていると、市内企業の採用担当者はどの方も話されます。今の世の中の状況とこれからを見極めて、どの高校を選んで何を勉強したいのか、するべきなのか、中学校3年間である程度は決めなければならないということです。



高校は通過点でしかない。されど分岐点でもある…「未来」を考えた進路決定を!